



機械受注統計調査報告

Machinery Orders

令和 2 年 7 ~ 9 月 見 通 し

Forecast for Jul. - Sep. 2020



令和 2 年 8 月

August 2020

内閣府経済社会総合研究所
景気統計部

Department of Business Statistics
Economic and Social Research Institute
Cabinet Office, Government of Japan

(調 査 の 概 要)

機械受注見通し調査は、機械製造業者の受注する設備用機械について、四半期ごとに翌期の受注見通し等を調査したものである。調査対象は「機械受注実績調査」の対象となっている主要な機械製造業者、また調査時点は毎四半期末であり、今回調査の見通し時点はおおむね2020（令和2）年6月下旬と推定される。

1987（昭和62）年7～9月見通し調査より、調査対象社数を178社から280社に増加させるとともに、調査内容を拡充した280社ベースの調査に移行した。

2011（平成23）年4月より、機種分類の「電子・通信機械」に含まれていた「携帯電話」を調査対象から外した。

(使 用 上 の 注 意)

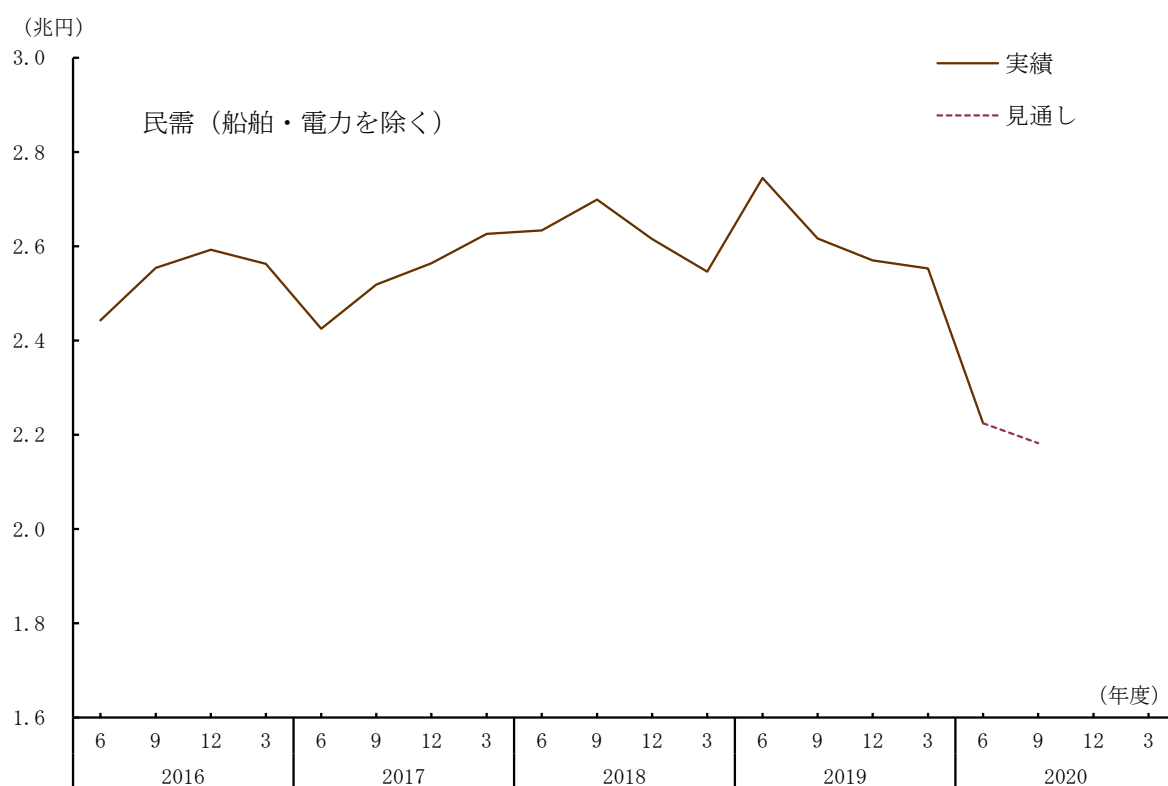
- 1．1989（平成元）年4～6月実績額から、すべて消費税を除くベースで調査している。
- 2．本調査は、毎年1月調査の時点で季節調整系列の改訂を行っている。季節調整方法は、X-12-ARIMAの中のX-11を使用している。

2020（令和2）年7～9月の機械受注見通し

1. 集計結果の概要

- (1) 2020年7～9月の機械受注見通し額について、調査対象企業の見通しを集計したところ、受注総額で6兆1,185億円、前年同期の実績に対し10.7%の減少、「船舶・電力を除く民需」で2兆4,580億円、同5.4%の減少という結果になった。
- (2) これに最近における「達成率」を乗じると、受注総額で前年同期に対し20.8%減、「船舶・電力を除く民需」で同15.5%減の見通しとなった。
- (3) 季節調整値により、前期（4～6月）の実績に対する比率を見ると、受注総額で4.8%減、「船舶・電力を除く民需」で1.9%減の見通しとなった。

第1図 受注額の実績と見通し（季節調整系列）



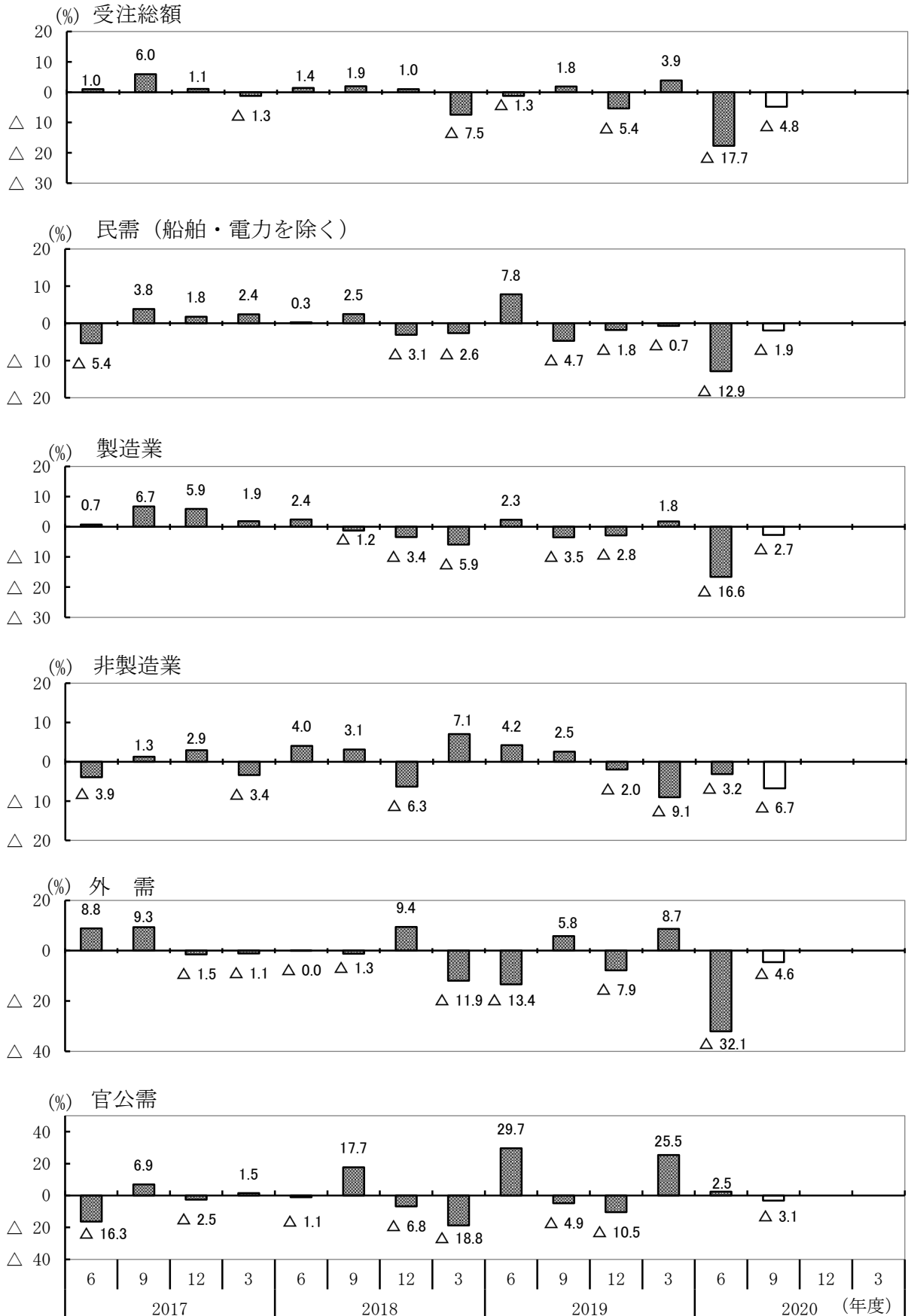
第1表 需要者別見通し額（季節調整系列）

（単位：100万円，％）

需要者		2019年 (令和元年) 10～12月 実績	2020年 (令和2年) 1～3月 実績	4～6月 実績	7～9月 見通し
実 数	受注総額	6,639,023	6,896,290	5,678,770	5,403,689
	民需	3,144,722	2,984,701	2,734,655	2,587,921
	(船舶を除く)	(3,134,497)	(2,881,014)	(2,698,968)	(2,567,146)
	(船舶・電力を除く)	(2,569,800)	(2,552,578)	(2,224,262)	(2,182,221)
	製造業	1,078,299	1,097,193	914,765	890,247
	非製造業	2,078,201	1,889,824	1,830,027	1,706,635
	(船舶・電力を除く)	(1,532,419)	(1,453,517)	(1,312,964)	(1,305,426)
	官公需	726,478	911,466	933,949	904,613
	外需	2,426,827	2,637,083	1,790,748	1,708,895
	代理店	345,839	358,133	297,235	290,984
前 期 比	受注総額	△ 5.4	3.9	△ 17.7	△ 4.8
	民需	△ 4.3	△ 5.1	△ 8.4	△ 5.4
	(船舶を除く)	(△ 0.8)	(△ 8.1)	(△ 6.3)	(△ 4.9)
	(船舶・電力を除く)	(△ 1.8)	(△ 0.7)	(△ 12.9)	(△ 1.9)
	製造業	△ 2.8	1.8	△ 16.6	△ 2.7
	非製造業	△ 2.0	△ 9.1	△ 3.2	△ 6.7
	(船舶・電力を除く)	(3.6)	(△ 5.1)	(△ 9.7)	(△ 0.6)
	官公需	△ 10.5	25.5	2.5	△ 3.1
	外需	△ 7.9	8.7	△ 32.1	△ 4.6
	代理店	△ 3.1	3.6	△ 17.0	△ 2.1

- (注) 1. 見通しの計数は、各部門ごとの単純集計値に過去3期の平均達成率（季節調整値）を乗じて算出している。
 2. 個別に季節調整を行っているため、需要者別内訳の合計は全体の季節調整値と一致しない。

第2図 需要者別機械受注の動向（季節調整系列、前期比）



（備考）2020年4～6月期以前は実績値。

2. 需要者別見通しについて

(1) 需要者別見通し額（季節調整済系列）

7～9月の機械受注見通し額（季節調整値）を前期比で見ると、受注総額は4～6月17.7%減の後、7～9月には、4.8%減の見通しとなった（第1表）。

これを需要者別にみると、民需は4～6月8.4%減の後、7～9月には製造業（2.7%減）、非製造業（6.7%減）がともに減少するとみられることから、合計では5.4%減となる見通しになっている。このうち、「船舶・電力を除く民需」は4～6月12.9%減の後、7～9月には1.9%減となる見通しになっている。

機械受注の見通し額（季節調整済系列）は、単純集計値に過去3期の平均達成率（季節調整済）を乗じ、単純集計値の季節指数で除して求めている（「達成率」については後述）。

参考表 需要者別見通し額(季節調整値)の算出

	単純集計値	3期平均 達成率	原数値	季節指数	季節調整値
受注総額	6,118,474	88.7	5,424,215	100.4	5,403,689
民需	2,816,633	92.9	2,616,343	101.1	2,587,921
(船舶を除く)	2,792,753	92.6	2,585,579	100.7	2,567,146
(船舶・電力を除く)	2,457,992	89.4	2,196,825	100.7	2,182,221
製造業	1,083,502	82.4	893,243	100.3	890,247
非製造業	1,733,131	100.1	1,734,152	101.6	1,706,635
(船舶・電力を除く)	1,380,513	95.6	1,320,007	101.1	1,305,426
官公需	840,099	106.2	891,838	98.6	904,613
外需	2,170,046	78.9	1,712,142	100.2	1,708,895
代理店	291,696	97.2	283,462	97.4	290,984

(2) 需要者別見通し額（原系列）

7～9月の機械受注見通し額について、単純集計値をみると、受注総額は6兆1,185億円であり、前年同期の実績に比べ、10.7%減となった（第2表）。

平均達成率調整後の見通し（原系列）をみると、受注総額では、7～9月には前年同期比20.8%減となる見通しになっている。需要者別にみると、民需は、製造業（18.5%減）、非製造業（16.9%減）がともに減少するとみられることから、17.8%減となる見通しになっている。このうち、「船舶・電力を除く民需」は15.5%減となる見通しになっている。

第2表 需要者別見通し額（原系列）

（単位：100万円，%）

需要者		期	2020年	4～6月	7～9月	(参考)
			(令和2年)			
			1～3月			
			実績			
実数	受注総額		7,919,585	5,259,524	5,424,215	6,118,474
	民需		3,466,780	2,521,689	2,616,343	2,816,633
	(船舶を除く)	(3,386,787)	(2,500,286)	(2,585,579)	(2,792,753)
	(船舶・電力を除く)	(2,758,133)	(2,153,209)	(2,196,825)	(2,457,992)
	製造業		1,135,733	905,988	893,243	1,083,502
	非製造業		2,331,047	1,615,701	1,734,152	1,733,131
	(船舶・電力を除く)	(1,626,541)	(1,253,332)	(1,320,007)	(1,380,513)
	官公需		1,141,151	778,421	891,838	840,099
	外需		2,957,580	1,672,871	1,712,142	2,170,046
	代理店		354,074	286,543	283,462	291,696
前年同期比	受注総額		△ 0.7	△ 17.7	△ 20.8	△ 10.7
	民需		△ 3.2	△ 15.5	△ 17.8	△ 11.5
	(船舶を除く)	(△ 3.0)	(△ 15.7)	(△ 17.0)	(△ 10.3)
	(船舶・電力を除く)	(△ 1.0)	(△ 19.1)	(△ 15.5)	(△ 5.4)
	製造業		△ 3.4	△ 19.9	△ 18.5	△ 1.1
	非製造業		△ 3.2	△ 12.7	△ 16.9	△ 17.0
	(船舶・電力を除く)	(0.6)	(△ 18.4)	(△ 12.5)	(△ 8.5)
	官公需		45.0	8.9	19.4	12.5
	外需		△ 8.7	△ 28.4	△ 33.1	△ 15.2
	代理店		△ 4.1	△ 19.6	△ 21.4	△ 19.2

(注) 見通しの計数は、各部門ごとの単純集計値に過去3期の平均達成率（季節調整値）を乗じて算出している。従って、各部門の合計値は受注額合計値と一致しない。

(3) 需要者別達成率の動向

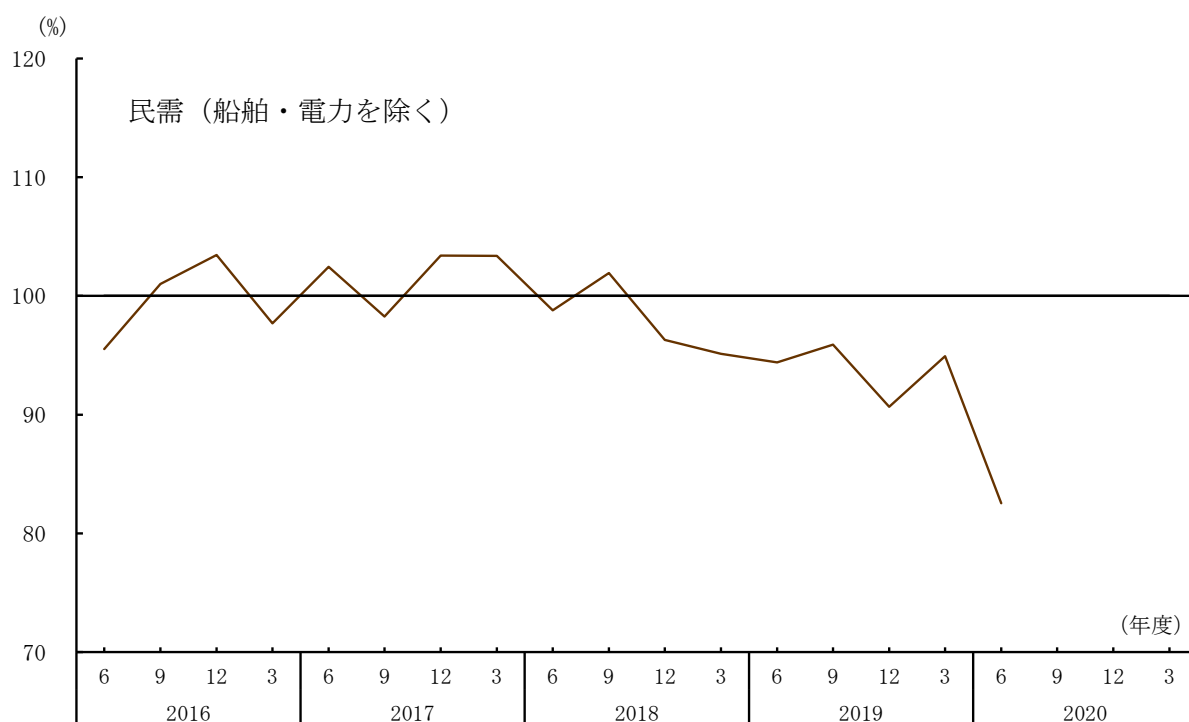
機械受注額の「見通し(単純集計値)」に対する「実績」の乖離を調整するために、両者の比を「達成率」として計算し、直近の3期平均達成率を見通しの「単純集計値」に乗じている。

最近における達成率(季節調整済)の動向は、第3図及び第3表のとおりである。

4～6月の機械受注見通し達成率をみると、受注総額では80.5%と100%を下回り、1～3月期の達成率と比べ16.3ポイント低下した(第3表)。

民需(86.5%)は同9.3ポイント低下、「船舶・電力を除く民需」(82.5%)は同12.4ポイント低下した。製造業(74.9%)は同14.1ポイント低下、「非製造業(船舶・電力を除く)」(88.3%)は同11.7ポイント低下した。

第3図 達成率 (季節調整系列)



(備考) 達成率(季節調整値)は、(実績(季節調整値)/見通し(単純集計値、季節調整値))で算出している。

第3表 需要者別達成率 (季節調整系列)

(単位：%)

需要者	期	2019年 (令和元年)		2020年 (令和2年)		3期平均
		7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	
受注総額		94.2	88.6	96.8	80.5	88.7
民需		99.2	96.3	95.8	86.5	92.9
(船舶を除く)		(96.3)	(97.2)	(93.7)	(86.8)	(92.6)
(船舶・電力を除く)		(95.9)	(90.7)	(94.9)	(82.5)	(89.4)
製造業		87.1	83.5	89.0	74.9	82.4
非製造業		104.0	105.3	100.1	94.8	100.1
(船舶・電力を除く)		(101.5)	(98.6)	(100.0)	(88.3)	(95.6)
官公需		90.3	84.0	133.9	100.6	106.2
外需		90.1	80.1	88.7	67.9	78.9
代理店		110.3	99.1	100.9	91.4	97.2

3期平均は2019年10~12月から2020年4~6月までの3期の単純平均。

3. 機種別見通しについて

(1) 機種別見通し額

7～9月の受注見通し（原系列）を機種別に前年同期比で見ると、船舶（6.4%増）で増加する見通しになっている。

反面、道路車両（43.4%減）、工作機械（42.0%減）、原動機（40.8%減）、鉄道車両（19.4%減）、産業機械（18.8%減）、航空機（17.2%減）、電子・通信機械（14.9%減）及び重電機（12.5%減）で減少する見通しになっている（第4表）。

第4表 機種別見通し額（原系列）

（単位：100万円，%）

機 種		期	2020年 (令和2年) 1～3月 実 績	4～6月 実 績	7～9月 見 通 し	(参考)
						単純集計値
実 数	原 動 機		872,092	455,274	391,590	409,215
	重 電 機		589,712	377,669	458,229	494,854
	電子・通信機械		2,552,857	2,187,222	2,010,213	2,017,529
	産 業 機 械		2,144,461	1,537,122	1,609,261	1,965,689
	工 作 機 械		190,392	135,069	134,192	170,770
	鉄 道 車 両		218,628	124,178	147,651	199,762
	道 路 車 両		364,851	226,096	212,252	230,347
	航 空 機		594,345	126,200	275,475	333,022
	船 舶		392,247	90,694	210,734	297,286
	合 計		7,919,585	5,259,524	5,458,118	6,118,474
前 年 同 期 比	原 動 機		△ 3.9	△ 1.6	△ 40.8	△ 38.1
	重 電 機		7.3	△ 28.8	△ 12.5	△ 5.5
	電子・通信機械		7.6	△ 2.6	△ 14.9	△ 14.6
	産 業 機 械		△ 7.8	△ 22.5	△ 18.8	△ 0.8
	工 作 機 械		△ 34.6	△ 46.8	△ 42.0	△ 26.2
	鉄 道 車 両		△ 34.5	△ 49.3	△ 19.4	9.0
	道 路 車 両		△ 0.8	△ 39.6	△ 43.4	△ 38.6
	航 空 機		8.4	△ 34.9	△ 17.2	0.0
	船 舶		39.1	△ 11.8	6.4	50.1
	合 計		△ 0.7	△ 17.7	△ 20.3	△ 10.7

（注）見通しの計数は、各機種ごとの単純集計値に過去3期の平均達成率を乗じて算出している。従って、各機種の合計値は受注額合計値と一致しない。

(2) 機種別達成率の動向

4～6月の機種別達成率をみると、原動機（109.1%）が前期と比べ4.7ポイント上昇した（第5表）。

反面、船舶（37.5%）が同64.2ポイント、航空機（51.5%）が同64.1ポイント、重電機（80.5%）が同17.2ポイント、産業機械（75.5%）が同17.0ポイント、道路車両（81.5%）が同12.6ポイント、電子・通信機械（94.2%）が同11.7ポイント、工作機械（71.3%）が同8.9ポイント、鉄道車両（54.9%）が同6.0ポイント低下した。

第5表 機種別達成率

(単位：%)

	2019年 (平成31年) 4～6月	2019年 (令和元年) 7～9月	10～12月	2020年 (令和2年) 1～3月	4～6月
原 動 機	100.7	99.8	73.5	104.4	109.1
重 電 機	118.3	83.0	99.6	97.7	80.5
電子・通信機械	95.8	103.3	98.8	105.9	94.2
産 業 機 械	88.0	86.2	77.6	92.5	75.5
工 作 機 械	85.8	82.6	84.3	80.2	71.3
鉄 道 車 両	144.6	71.3	106.0	60.9	54.9
道 路 車 両	102.6	96.2	100.9	94.1	81.5
航 空 機	87.6	86.4	81.0	115.6	51.5
船 舶	63.7	70.2	73.4	101.7	37.5
合 計	95.1	91.7	87.4	98.4	81.9

(注) 達成率は（実績（原数値）／見通し（単純集計値））で算出している。

第6表 機械受注見通し調査（2020年6月調査）
2020年7～9月受注見通し額集計結果表

（単位：100万円）

需要者別	機種別					
	原 動 機	重 電 機	電子・通信機械	産 業 機 械	工 作 機 械	
受 注 総 額	409,215	494,854	2,017,529	1,965,689	170,770	受 計
民 需	273,990	272,095	1,115,416	843,970	84,142	民 計
製 造 業	118,046	62,951	340,484	444,938	82,606	製 計
非 製 造 業	155,944	209,144	774,932	399,032	1,536	非 計
内 電 力 業	121,886	155,955	38,209	18,709	0	電 力
官 公 需	17,594	76,747	346,966	231,219	151	官 計
外 需	117,541	66,948	538,576	786,285	85,607	海 外
代 理 店	90	79,064	16,571	104,215	870	代 理 店

需要者別	機種別					
	鉄 道 車 両	道 路 車 両	航 空 機	船 舶	合 計	
受 注 総 額	199,762	230,347	333,022	297,286	6,118,474	受 計
民 需	128,305	52,682	22,153	23,880	2,816,633	民 計
製 造 業	6,815	587	21,052	6,023	1,083,502	製 計
非 製 造 業	121,490	52,095	1,101	17,857	1,733,131	非 計
内 電 力 業	2	0	0	0	334,761	電 力
官 公 需	16,936	1,815	118,582	30,089	840,099	官 計
外 需	54,000	85,485	192,287	243,317	2,170,046	海 外
代 理 店	521	90,365	0	0	291,696	代 理 店